

1 子どもが増え商店街がにぎわう町づくりについて

ただいまの小池伊織<sup>こいけ いおり</sup>議員のご質問にお答え申し上げます。

子どもが増え商店街がにぎわう町づくりについてであります。商店街にかつてのような活気を取り戻すため、平成10年から中心市街地の街づくり事業に取り組んでおります。

この事業は、土地の形を整え、住む人たちの快適な生活と、訪れる人たちの利便性の両立を図るものです。

この事業の一環として、上之町においては、今年新たに建設された生方記念文庫の隣に沼田貯蓄銀行の復原<sup>ふくげん</sup>が進められるとともに、天狗面が設置されている天狗プラザの整備と併せて「にぎわいの核」として具体的な検討が進められております。

全国的に人口減少、少子高齢化が著しく進んでおり、沼田市においても同様であります。子どものいる若い世代が中町を含めた街なかに住みたいと思ってもらうためには、商店街がもっと活気あるものと

ならなければならないと思います。

そのために、市は街づくり事業を進めておりますが、事業の対象となる商店街や地元の方々が、この事業をきっかけとして魅力ある商店街づくりを行うとともに、お客さんを増やす工夫も必要であると思います。

空き地への遊具の設置、グリーンベル21への水族館や映画館の設置など、子どもの楽しめる工夫についてご提案いただきましたが、今後事業を進めるうえでの参考とさせていただき、大人も子どもも楽しめるより良いまちづくりの方策を検討してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、小池<sup>いおり</sup>伊織議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。